

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和4年3月24日

事業所名：児童デイサービスコンブリオ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動に合わせてスペースを使えるようにしています。	室内の広さは確保できているが個室が少ないので、遊び毎の活動場所をより明確に分けるなどして過ごしやすさの向上を図っていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		トイレの手すりや段差の解消に努めています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月に1度以上目標設定と振り返りを行い改善に努めています。	コンブリオ3事業所全体でより良い支援のために関わる職員全体で検討し実践できるよりよい方法を模索していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートを基に事業所全体で改善点を協議し、次年度へ向けた改善策を講じています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開しています。	ご利用者様には結果報告を書面で配布することを検討しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		虐待防止や応用行動分析について知見を深める研修を実施しています。	来年度は概ね1ヵ月に1回職員研修の機会を設けて、支援者として必要な知識を深められるようにしていきます。
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者面談や支援計画更新前のアンケートでアセスメントしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	子どもの発達段階に合わせて適応行動の状況を把握するように努めています。	標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、事業所内で客観的に評価できる指標を検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティングを行い活動プログラムを決定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節に合った活動や新しい遊び方を取り入れるようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		必要に応じて長期休み中は、学校がある期間にはできないような課題や活動を設定し行っています。	長期休暇中の活動について、コロナ禍収束後にソーシャルスキルの向上を目的として外出プログラム等の再開を検討していきます。

提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団での学習機会を第一に考えているが課題により個別の目標を設定していません。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前にケアに入る職員同士で予定の確認をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	適宜気付いた点や振り返りを実施し情報共有をしていますが、毎日行っていない。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録の取り方についてマニュアルを作成し共有しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		ミーティングで個別ケースの確認と見直しをしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		自立支援、創作活動、余暇支援を組み合わせ個々の課題に合わせて支援を提供している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的にはサービス管理責任者が参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		情報共有が必要な際は適宜連絡している。下校時間の確認等はご家族を通して行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児を受け入れられる支援体制が整っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者から承諾を得られるケースについては実施している。また計画相談をご利用の方は相談員から引継ぎを受けている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		保護者から希望がある場合や計画相談をご利用の方は求めに応じて対応しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部専門機関に依頼し虐待防止・身体拘束防止研修を実施しました。	来年度も積極的に外部研修に参加し知識を深め支援に活かせるようにしていきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		法人として市川市の自立支援協議会子ども部会に参加しています。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時の引継ぎ、面談時に子どもの様子や変化について共有するように努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者面談で助言を行うことはありますが、定期的なペアトレの実施はしていません。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		主に面談を通して助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付先を契約時に説明しています。発生時には事業所内で共有し迅速に対応しています。	苦情対応マニュアルについて職員への再周知を行い、より迅速な対応ができるようにしていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	不定期な事業所便りを発行して過ごしの様子を発信しています。	来年度は季節ごとにコンプリオ3事業所合わせた便りを発行したいと考えています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		伝わりやすい表現方法や媒体を用いて意思疎通の配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時に各種マニュアルについて丁寧な説明を心掛けている。	各種マニュアルについて職員への再周知を行い、より迅速な対応ができるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1度の避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		昨年度は全職員が外部の研修に参加し、権利擁護・虐待防止の研修を受講しました。	今後も外部研修に積極的に参加すると共に、法人として虐待防止委員を選定し法人全体で定期的に会議を開催し情報の共有や検討の機会をもつ。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束を行う場合の要件について明確に決定し、行う場合には説明の上支援計画に記載するようにしています。	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無を確認しおやつの内容を配慮しています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		アクシデント・インシデントを事業所内で周知し共有しています。	